

社会

第6学年

育成を目指す資質・能力 【探究力】【思考力・判断力・表現力】
【本質を志向する価値観】

単元名

映画化決定！明治維新の主役は誰だ！？ たった20年での大きな変化に関わった人物を選び出せ！

【単元の概要】

たった20年間で大きく変化した理由について映画を作ると仮定し、その主役を選定するという文脈で、黒船の来航、明治維新、文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを人物の働きを通して捉えるようにします。

学習指導要領における領域・内容

2内容(1)キ

他教科等との関連

国語

◆単元の目標

- 幕末から明治維新までの世の中の動きや新政府が進めた新しい国づくりに関心を持ち、政治や社会の仕組みの変化などを意欲的に調べることができる。
- 幕末から明治維新の時期に活躍した人物の働きについて、当時の世の中の動きや明治政府の諸政策等と関連付けて考え、調べたことや考えたことを適切に表現することができる。
- 幕末から明治維新までの世の中の動きや明治政府の諸政策について、絵画資料や年表、写真、文章資料等の資料を効果的に活用して調べ表現することができる。
- 黒船の来航により我が国が開国し、江戸幕府が倒れるきっかけとなったことや欧米の文化を取り入れつつ近代化が進んだこと、欧米諸国と対等な関係を構築したことを理解することができる。

◆単元の展開(全10時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>課題の設定(2)</p> <p>開国前と開国後の絵や写真を分類し、気になったことについて話し合い学習問題を考える。</p>	<p>○江戸時代と明治時代で一気に変わったな。 ○鉄道が走るようになったんだね。 ○服や髪型が全然違うよ。 ○江戸時代は265年間でほとんど変わっていないのに、明治時代は20年間でこんなに変わるとは驚きだね。 ○どんな人物に関わったのだろう。 ○坂本龍馬や勝海舟、木戸孝允・・・ ○たった20年でどうしてこんなに大きな変化が起こったのだろう。そこにはどんな人物に関わったのかな。 ○明治維新の主役って一体誰だろう。</p> <p>開国前と開国後の絵や写真の分類により開国後のイメージをつかみ、学習問題を作成している。</p>	<p>■最初に提示する絵や写真は以下の通りである。 【開国前】 ・武士の肖像、和装、御殿建築、二条城、日本橋前の風景 【開国後】 ・洋装、ざんぎり頭、西洋料理、赤れんがの建物、日本橋前の風景</p> <p>■本単元で学ぶ以下の人物の写真や絵を用意しておく。 木戸孝允、伊藤博文、岩倉具視、勝海舟、大久保利通、西郷隆盛、坂本龍馬、板垣退助、大塩平八郎、明治天皇、徳川慶喜</p>
<p>たった20年で大きな変化が起こったのはなぜ!? 明治維新の主役は誰!</p>	<p>○ペリーが来て開国したからかな。 ○外国人と日本人との関わりの中で新しい物が入ってきたのではないかな。 ○日本人の活躍があったのではないかな。 ○何を調べたらいいかな。 ○開国には、ペリーがかかっていると書いてあるよ。他にもどんな人々がいたのか、教科書や資料集などを見て確認しよう。 ○調べ方を考えよう。 ○図書館に伝記があったよね。読んでみよう。 ○それぞれの人物が、どんな取組をしたのか調べたらいいんじゃないかな。 ○学習漫画が使えそう。インターネットなどを使ってもいいね。実際に調べてみよう。 ○まずは、ペリーが来航して開国したことから調べてみよう。</p> <p>学習問題に対して、学習計画を立て自分で調べ学習を進めている。</p>	<p>■教科書や資料集をヒントに出でくる人物を確認させる。教科書に出ない人物を選んでよいものとする。</p> <p>【国語】目的に応じて複数の本や文章を選んで比べて読む。</p> <p>■教室に学習漫画を含め明治維新に関わる書籍などの資料を用意しておく。 ■図書館司書と連携を取り、関係書籍を近隣の図書館などからも用意しておく。 ■インターネットが使えるタブレット機器やパソコンを用意しておく。この学習時間以外にも学習目的ならば使用を許可する。 ■単元全体で使える資料をプリントで配布しておき、その都度使えるようにする。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p style="text-align: center;">情報の収集・整理分析（５）</p>		
<p>なぜ開国し、不平等条約を結んだのか考え調べる。</p>	<p>○日本の開国にはペリーが関わっていたね。 ○幕府はどう対応したのかな。 ○開国して不平等条約を結んだんだね。 ○なぜ不平等条約を結んだのだろう。 ○脅されたのではないかな。蒸気船がかなり大きいし、ペリーの持参物に驚いたとあるよ。 ○中国（清）もイギリスと戦争をして敗れているんだね。 ○だからいやいやでも開国したんだろうね。 ○長州や薩摩は外国に負けていたから、今は外国と戦ってはだめだと思っただろうね。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">不平等条約が締結されたことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ペリー来航の絵からアメリカ船と日本船との違いに気付かせる。 ■不平等条約について調べさせる。 ■フィルモアの手紙を資料として提示する。 ■諸外国の経済的独占の表れとして、以下の資料を示す。1889年までの日本の商人と外国商人の輸出入の取扱高は日本約2割に対して外国約8割。 ■領事裁判権の濫用の表れとして、外国商人の生糸売り込み問屋との取引における不正行為（売り込み問屋に不利な量り方の強制、証書の無発行、契約の突然の解除）の資料を示す。 ■不平等条約をなぜ結んだのか考えさせる。 ■黒船の設備や幕府への贈り物、当時の極東における勢力図などの資料を用意する。
<p>自主学习で調べてきた人物がどんな取組みをしたのか発表し合うことを通して大政奉還がなぜ実現したのかを考える。</p>	<p>○武士や朝廷はどんな行動を起こしたか調べてきたよね。 ○天皇中心の国作りをしようとしたんだね。 ○当時700万石の石高を誇る江戸幕府に大政奉還をどのように実現させたのだろう。 ○薩摩では西郷、大久保、長州は木戸、伊藤、江戸では勝、土佐では坂本、板垣、朝廷では岩倉が活躍したんだね。 ○薩摩と長州が手を結び、朝廷とも手を結んで大政奉還を実現させたんだね。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">大政奉還が実現したことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■児童が自主学习してきたことをもとに、どこでどんな人物が活躍したのか確認させる。 ■「幕府」「京都・朝廷」「薩摩」「長州」に人物を分類させる。幕府の石高が約700万石であったことを示し、米の取れ高日本一の幕府を倒したのはどの勢力か考えさせ、薩摩と長州、さらには朝廷も協力したことを捉えさせる。
<p>大久保利通がどのように新しい世の中を作ろうとしたか調べ、考える。</p>	<p>○新政府の中心となったのは誰だったの。 ○新政府では木戸孝允や大久保利通らが中心となったんだね。どのように新しい世の中を作ろうとしたのだろう。 ○版籍奉還や廃藩置県をしたんだね。それを通して藩が各地を治めるのではなく天皇中心の国作りをしようとしたんだね。 ○五箇条の御誓文で国作りの方針を示したんだね。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、近代化を進めたことを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書や資料集を基に、五箇条の御誓文をもとに大久保利通が版籍奉還や廃藩置県の政策を行ったことを捉えさせる。 ■版籍奉還や廃藩置県の政策を行った理由を考えさせるために、江戸時代と比較させ、もともと誰の物が誰の物になったのか考えさせる。
<p>岩倉使節団派遣後、大久保利通はどのように新しい世の中を作ろうとしたか調べ、考える。</p>	<p>○年表によると岩倉使節団が日本に帰ってきてから大きな変化がたくさんあるね。 ○外国からいろんなことを学んだから変化が大きいのかな。岩倉使節団から帰ってきた大久保利通は、日本がアメリカなどに追いつくためにどうしたのだろう。 ○富国強兵で徴兵令を出したり製糸業や造船、兵器なども作る殖産興業に取り組んだりしたんだね。外国人を雇って指導してもらったようだよ。地租改正してお金でも収入を得たんだね。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">統計資料を活用して具体的に調べ、日本の当時のおかれた状況を読み取っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■江戸時代末期の身分ごとの人口の割合を示す。百姓が85%を占めており商工業等に従事する町人は全体の5%に満たないことをとらえさせる。 ■富国強兵をキーワードに取り組んだ内容を確認させる。 ■1875年に当時大蔵卿の大隈重信が官営事業民間払い下げを提案する。殖産興業として富岡製糸場の意味を捉えさせるため、そこまでの損益を示す資料を用意する。1872～1875年の損益がマイナス22万233円である。
<p>新しく日本に入ってきた物を見付け、単元全体をまとめ。</p>	<p>○安愚楽鍋の中には外国から来た物がたくさんあるね。こういった文化を人々はどのようにして知ったのだろう。 ○福沢諭吉は「西洋事情」という本を書いて欧米の様子を知らせたらしいね。「学問のすすめ」も書いたんだね。 ○学校も建って誰もが勉強できるようになっているよ。 ○開国し、改革をしたから、変わったんだね。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">新しく日本に入ってきた物に関心を持ち、意欲的に調べ、単元のまとめを書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■安愚楽鍋の絵の中から文明開化を探させる。 ■教科書、資料集からも文明開化の影響を受けたものを探させる。

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現（３）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>どの人物を選んでよいので、個人で一人選び、提案シートをまとめる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>班の中で、どの提案シートを学級全体に提案するか話し合い、一つを選び学級全体に提案する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価テストに取り組む。</p> </div>	<p>○僕は、大久保利通がおすすめです。理由は二つあって、一つは明治時代の基礎を作ったからです。版籍奉還や廃藩置県をしたのも大久保利通です。 二つ目は、富国強兵を進めたからです。強兵のために徴兵令を出したり殖産興業を進めたりしたからです。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">根拠をもって人物を選んでいる。</p> <p>○私は、大久保利通がいいと思います。二つ理由を言っているし、ちゃんと根拠があるからみんなに納得してもらえと思う。 ○さらに版籍奉還や廃藩置県が何を指したものだっただのかを付け加えたらいいかもしれないね。 ○さらに、殖産興業で例を示したらいいかもしれないね。富岡製糸場も入れるといいんじゃないかな。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">根拠をもって、互いの紹介する人物から班で紹介する1名を選ぶとともに、内容を充実させるために意見を出し合っている。</p> <p>○僕たちは、大久保利通をおすすめします。理由は二つあります。 一つ目は、明治政府の基礎を作った人物だからです。大久保利通は、版籍奉還や廃藩置県を行いました。版籍奉還や廃藩置県によって、天皇中心の政治となるようにしました。 二つ目は、富国強兵を進めた人物だからです。強兵のために徴兵令を出したり、殖産興業を進めたりしたからです。殖産興業では富岡製糸場が有名です。富岡製糸場は赤字だったんだけど、富岡製糸場で学んだ人が各地で製糸場を作って、国全体に製糸場が広がっていったのがすごいと思います。 ○ぼくは開国させたペリーを選んでいただけ、大久保利通の説明は論理的だったな。大久保に投票しよう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">発表者の主張—根拠—理由を確かめながら、映画化した場合の主演を誰にすべきか選んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ どの人物を取り上げるかは、単元展開中から決めさせておく。また根拠となる資料も単元展開中に使用した物やそれ以外自主学习などで見つけたものなどを利用させる。 ■ これまで調べてきたことをもとに、根拠を明確に示しながら、自分の主張を説明できるようにする。 ■ まず班の中でそれぞれの提案シートをもとに、何を選ぶか話し合わせる。提案シートを選択する観点として、主張—根拠—理由の三点が納得できるかどうかで判断させる。学級全体で話し合わせる時も、観点は同じである。 ■ 最後に提案された人物のうち、1番明治維新の大きな変化に関わっていると感じた人物に投票させる。

【児童生徒の変容】

前単元「江戸の社会と文化・学問」では、日本橋の街道に新たな店を建てるとしたらどんな店を建てるとよいかという学習問題を基に単元を構成した。児童は学習内容を基にどんな店を建てるとよいかという「主張」と、それを証拠づけるデータ「根拠」と、データからなぜそう主張できるのかという「理由付け」で意見を交流し、1番よいアイデアは何か、次点、次々点は何かという話し合いを行った。

その際、根拠となる資料を見付け、資料をもとに理由を書き主張を書くことはできているが、「主張」「根拠」「理由付け」がそれぞれつながっておらず、資料の分析から分かることを整理し、分析したことを基に理由付けを行う点に課題があることが分かった。

これらの児童の実態を踏まえ本単元では、三点ロジック（主張、根拠、理由付け）のワークシートを活用した。資料を基に理由付けを行い主張することは全員できた。課題であった資料の分析と資料の分析を基にした理由付けについても7割の児童が自力で達成し、2割の児童が形成的な評価を入れることで達成できていた。このことから、ワークシートの活用は有効であったと考える。

また、「大久保利通は、版籍奉還や廃藩置県を行いました。版籍奉還や廃藩置県によって、天皇中心の政治となるようにしました。」等、児童それぞれが選んだ人物に対する記述がなされ、人物や歴史的な事象を個別に捉えるにとどまらず、人物が果たした役割を版籍奉還等の諸改革の意義や意味と関連付けて考察し、表現することができたと捉えている。